

2023 年度

宝塚第一小学校区まちづくり協議会

# 総 会 議 案 書

日時：2023 年 5 月 14 日（日）10 時

場所：宝塚第一小学校 視聴覚室

会場内、駐車スペースがございません。  
車でのご来場は固くお断りいたします。

# 総 会 次 第

1. 開会の挨拶
2. 会長挨拶
3. 来賓の紹介・挨拶
4. 総会の資格審査・総会成立宣言
5. 議長、議事録署名人選出
6. 議 事
  - 1) 議案第 1 号 2022 年度事業報告
  - 2) 議案第 2 号 2022 年度決算報告
  - 3) 議案第 3 号 会則の一部変更
  - 4) 議案第 4 号 運営審議会委員
  - 5) 議案第 5 号 2023 年度役員
  - 6) 議案第 6 号 2023 年度事業計画
  - 7) 議案第 7 号 2023 年度予算
7. その他
8. 閉会の挨拶

## 議案第1号 2022年度事業報告

宝塚第一小学校区まちづくり協議会会則第20条(1)の規定に基づき、次のとおり2022年度の事業を報告する。

### 1. 全体での取り組み

#### (1) 全体事業

##### ① 地域ごとのまちづくり計画を推進し実施

まちづくり計画の重点プロジェクトを推進するための個別に委員会等を立上げ具体的に取組んだ

##### ② 進捗確認表を作成して進捗管理

- ・「地域ごとのまちづくり計画」に基づき管理
- ・2022年度「進捗管理シート 82項目」の進捗について年度末に市と共有

#### (2) 重点プロジェクト

##### ① 重点プロジェクトA 宝塚南口、武庫川右岸のにぎわいづくり

- ・宝塚温泉まつりを温故知新として開催 5/1 参加者700名
- ・共生UGANまつりは障がい者団体が初めて4ブースを展開 10/23 参加者1,100名 地元のお店、自治会、旅館組合、中学校などの協力もあり、近隣の多くの親子連れが武庫川の景観を楽しむなど市民的な賑わいを創出できた

##### ② 重点プロジェクトB マンションコミュニティづくり

- ・20棟のマンションに数回にわたり広報紙の配布やまち協行事への参加を呼び掛けるも、窓口が管理組合であるので理事長等との面談は実現に至らず個人情報の問題もあり関係構築が現実的に難しいことが判明した
- a. 会議1回 6/25 (プロジェクトA・B合同)
- b. 防災委員会や規約改定委員会、他の重点プロジェクトと一緒に情報交換等適宜
- c. 宝塚ホテル跡地開発タワーマンション建設に関する会合で協議
- d. 防災委員会へマンションからの参加
- e. 現状進めるのが困難と判断、マンションとの関係構築に関して行政も交えて会合を持つことになった

##### ③ 重点プロジェクトC 防災コミュニティづくり

- ・地域を知ろう「活断層による」直下型地震が起きたら」をテーマに地域防災体制を確立するべく地区防災委員を中心に各自治会と共に活動した
- ・地区防災委員会 事務局会議 10回開催
- ・地区防災委員会 2回開催 9/24、1/21
- ・一小校区防災訓練 「防災まち歩き」 2/19 参加者60名

##### ④ 重点プロジェクトD 中・高生の地域での活動の場・居場所づくり

- ・過大規模校の教育環境の悪化の中、大型マンション建設で児童数増が見込まれ官民一体協議 「第一小学校教育環境適正化検討委員会」が発足 2/7

- ・中学生の自習の場として宝梅ハウスの提供開始 2/18、2/19 今後も継続

### (3) 外部の会議、活動への参加

- ①まちづくり協議会代表者交流会 11回
- ②宝塚市自立支援協議会全体会 2回
- ③第一小学校コミュニティスクール 3回
- ④宝梅中学校コミュニティスクール 3回
- ⑤第一小学校教育環境適正化委員会 1回
- ⑥校区人権啓発推進委員会 2回
- ⑦野上児童館運営委員会 3回
- ⑧旧宝塚ホテル跡地開発連絡会 2回

### (4) 内部会議の開催

- ①役員会（月1回 第4土曜日） 11回
- ②常任評議会 3回
- ③評議委員会 1回
- ④宝梅ハウス運営委員会 0回
- ⑤部会、広報委員会 月1回
- ⑥地区防災委員会事務局会合 10回
- ⑦部会連絡会 0回
- ⑧宝梅ハウス運用委員会 月1回

## 2. 部会活動、広報活動、拠点(一小宝梅ハウス)管理

### (1) 安全部会

- ①部会 12回
- ②児童安全講座 7/14 参加者：宝塚第一小学校3年生
- ③第8回児童防災訓練 1/30 参加者：宝塚第一小学校4年生 186名
- ④紅葉ガ丘自主防災会への協力 12/3 「市民トリアージ」講義
- ⑤共生UGANまつり警備
- ⑥宝塚ボランティアプラザ zukavo 主催  
小中高生ボランティアクラブ 9/4 参加者7名
- ⑦全体事業、部会間が主催する行事への参画

### (2) 環境部会

- ①部会 12回
- ②支多々川清掃 0回
- ③寄せ植え講習会 11/25 参加者28名
- ④校区内花壇グループの支援(花壇グループ10)
- ⑤「光ガ丘中学校環境ボランティア」への参加 0回
- ⑥地域環境活動(校区内公園の調査) 0回
- ⑦講師派遣(勉強会)の実施 2/21、2/24 参加者25名  
テーマ：ゴミに関する知識を深めよう 講師：宝塚市クリーンセンター
- ⑧全体事業、部会間が主催する行事への参画

### (3)子育て部会

- ①部会 5回
- ②一っ子遊ぼう会への支援
- ③子育てふれあいサロン 11回
- ④夏休み工作教室～世代間交流広場～
- ⑤プロジェクトDに協力して中学生への自習室開放
- ⑥全体事業、部会間で主催する行事

### (4)福祉部会

- ①部会 11回
- ②暮らしのパートナー活動(くつろぎカフェ) 34回  
(宝塚ボランティアセンター移動カフェ) 11回
- ③子育てふれあいサロンの開催 11回
- ④夏休みラジオ体操 7/23～8/26 30回
- ⑤夏休み世代間交流広場～夏休み工作教室～ 7/29 宝梅ハウス 参加者 80名
- ⑥地域福祉ネットワーク会議の開催
  - ・「支えあえる地域をめざして」 7/3 参加者 30名
  - ・「子どもの地域生活を考える」 11/19 参加者 35名
- ⑦福祉勉強会の開催「視覚障がい者の特性と生活を理解する」  
講師:くらんど人権文化センター職員 本宮勢也氏 7/6 宝梅ハウス
- ⑧ふれあいサロン ミニデイサービス支援
- ⑨ふれあいサロン交流会 3/14 校区内8サロンより参加者 20名
- ⑩全体事業、部会間が主催する行事への参画

### (5)地域交流部会

- ①部会 11回
- ②地域の魅力再発見まち歩き
  - ・第9回 武庫山の森里山歩き 櫻守さんと交流 4/3 参加者 18名
  - ・第10回「手塚治虫の青春」をテーマに御殿山地区交流 6/4 参加者 60名
  - ・第11回 伊丹歴史まち歩き有岡城址、旧家、長寿蔵酒蔵 9/25 参加者 27名
- ③地域の魅力再発見事業
  - ・宝塚温泉まつり開催、旧温泉街写真、宝塚音頭体験など 5/1 参加者 700名
  - ・中高生15名のまちづくり提案、旅館組合、郷土史家等 12/10 参加者 60名
  - ・共生UGANまつりとして地元45団体が参画 10/23 参加者 1,100名
- ④地域交流ネットワーク会議の開催
  - ・地域交流ネットワーク会議 教育委員会、自治会、育友会 8/6 参加者 30名
  - 議題「一小大規模校解消へ教育委員会と対話」
  - 仮設教室棟で学校内に空き教室が無い等の課題共有
- ⑤西谷地区をはじめとする他のまち協との交流
  - ・宝塚西谷佐曾利川カヌー体験 西谷まち協コラボ 8/11 参加者 40名
  - ・第2回西谷フォーラム 9/16 参加者 100名
- ⑥シニアから次世代まで活躍の場をつくり多世代交流し市民や担い手を育てる
  - ・講演会「参加の力」が創る共生社会 2/5 参加者 43名
  - 講師:大阪ボランティア協会理事長 早瀬昇氏

- ・「中高生 15 名からまちづくり提案」 12/10 参加者 60 名
- ⑦全体行事、部会間が主催する行事への参画

#### (6) 広報委員会

- ①広報紙の発行 3 回 No. 48 (7/1)、No. 49 (11/1)、No. 50 (3/31)  
発行部数 (1 回あたり 8,572 部 A4 カラー4 ページ)
- ②広報委員会 6 回、都度メールで記事のやり取り、意見交換、編集。校正など
- ③広報紙発行に向け紙面検討、記事依頼、取材、入稿、配布準備、配布
- ④一小まち協内外各種会議事業等に参加
- ⑤広報紙バックナンバーをまち協ポータルサイト内に UP
- ⑥広報紙の配布協力依頼、公民館等での設置依頼
- ⑦ブログへの記事 UP、ブログ講座 11/9 参加者 5 名
- ⑧広報板にチラシ等を貼って活用
- ⑨宝梅ハウスまつりで広報紙募集俳句短冊掲示 10/30
- ⑩全体行事、部会間が主催する行事への参画

#### (7) 一小宝梅ハウス

- ①運用委員会 11 回
- ②地域住民の交流の場づくり(宝梅ハウスまつり 10/30)  
(焼き芋会 11/11)
- ③暮らしのパートナー活動(くつろぎカフェ) 34 回  
(ボランティア移動カフェ) 11 回
- ④サロン活動の支援・協力(子育てふれあいサロン等) 9 回
- ⑤集会室の開放(夏休み宿題広場 7/27、7/28 参加者延べ 10 名)  
(宝梅中学校対象の自習室開放 2/18、2/19 参加者延べ 25 名)
- ⑥集会室やコピー機・印刷機・プロジェクター等の貸し出し
- ⑦フードドライブ活動(食品回収ボックスの設置協力)
- ⑧集会室やコピー機、印刷機プロジェクター等の貸し出し。  
まち協関係の利用 204 件 利用者延べ 1,125 名  
その他一般の利用 171 件 利用者延べ 1,463 名
- ⑨全体事業、部会間が主催する行事への参画

### 3. 議決機関

- (1) 総会 5/8
- (2) 評議委員会 5/8 12/10
- (3) 常任評議会 7/30 10/29 3/4

議案第2号 2022年度決算報告

宝塚第一小学校区まちづくり協議会会則第20条第1号前段の規定に基づき、次のとおり2022年度の収支決算を報告する。

2022年度宝塚第一小学校区まちづくり協議会 収支計算書  
(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

【収入の部】

(単位：円)

項目		2022年度予算額	2022年度決算額	差異	摘要
公的助成金	宝塚市	818,000	818,000	0	補助金第5条第1項1号～3号
	宝塚市(デジタル化推進事業)	0	369,016	369,016	補助金第5条第1項4号
	宝塚市社会福祉協議会	247,000	247,000	0	福祉コミュニティ支援事業助成金
	宝塚市社会福祉協議会	28,000	30,000	2,000	事業ごと申請分
<b>公的助成金合計</b>		<b>1,093,000</b>	<b>1,464,016</b>	<b>371,016</b>	
事業収入	夏まつり協賛金等	0	0	0	
	行事参加費	50,000	47,200	△ 2,800	工作教室、寄せ植え講習会、子育てふれあいサロン
	安全部会	0	3,000	3,000	ボランティアクラブ交通費
	一小宝梅ハウス運営収入	410,000	533,238	123,238	集会室・印刷機使用料収入
<b>事業収入合計</b>		<b>460,000</b>	<b>583,438</b>	<b>123,438</b>	
雑収入	利息	60	25	△ 35	
	寄付等	0	0	0	
<b>雑収入合計</b>		<b>60</b>	<b>25</b>	<b>△ 35</b>	
<b>収入合計</b>		<b>1,553,060</b>	<b>2,047,479</b>	<b>①</b>	

【支出の部】

(単位：円)

項目		2022年度予算額	2022年度決算額	差異	摘要
事業費	環境部会	130,000	140,852	10,852	花いっぱい運動地域緑化団体助成金(12団体)等
	安全部会	80,000	91,519	11,519	自転車教室、児童防災、電柱幕購入等
	福祉部会	247,000	206,388	△ 40,612	子育てふれあいサロン、地域ふれあいサロン補助、交流会等
	子育て部会	80,000	76,186	△ 3,814	世代間交流工作教室等
	地域交流部会	130,000	95,606	△ 34,394	校区まちあるき、地域ネットワーク会議等
	本部(実行委員会の活動事業)	340,000	257,461	△ 82,539	地区防災委員会、まちあるきトレジャーハンター等
	地区防災委員会		172,484		
	トレジャーハンター		34,145		
	共生UGANまつり		50,832		
デジタル化推進事業	0	377,210	377,210	補助金第5条第1項4号	
<b>事業費合計</b>		<b>1,007,000</b>	<b>1,245,222</b>	<b>238,222</b>	
管理費	本部費用扱分	300,000	247,642	△ 52,358	
	社協組織構成会費		3,000		
	消耗品その他		244,642		
	広報委員会	140,000	146,620	6,620	広報紙年3回発行
	一小宝梅ハウス施設整備、運営費	357,500	651,380	293,880	
	常任評議会費用	30,000	37,583	7,583	案内発送費用、消耗品等
	社協助成金返金額	0	0	0	
宝塚市助成金返金額	70,429	70,429	0		
<b>管理費合計</b>		<b>897,929</b>	<b>1,153,654</b>	<b>255,725</b>	
<b>支出合計</b>		<b>1,904,929</b>	<b>2,398,876</b>	<b>②</b>	
当期収支差額		△ 351,869		△ 351,397	①-②
前年度繰越金		3,046,922		3,046,922	③
次年度繰越金		2,695,053		2,695,525	①-②+③

現金		31,982
三井住友銀行	逆瀬川支店 普通口座	1,336,225
ゆうちょ銀行		496,570
尼崎信用金庫	逆瀬川支店 普通預金	330,389
尼崎信用金庫	逆瀬川支店 定期預金	500,359
	計	2,695,525

## 会計監査報告

2022年度宝塚第一小学校区まちづくり協議会の上記決算について、  
 金銭出納簿および領収書その他必要書類の提出を受け監査した  
 ところ、いずれも正確、適正であることを認めます。

2023年 4月 日 会計監査 \_\_\_\_\_ 印

会計監査 \_\_\_\_\_ 印

### 第3号議案 会則の一部変更

宝塚第一小学校区まちづくり協議会の会則の一部を下記のとおり改正する。

#### 改正理由

常任評議委員のなり手が減少する中、議決機関を維持するため、運営事務の負担を執行部に移管する。総会に次ぐ常設の議決機関である常任評議委員会を廃止し新たに**運営審議会**を創設し議決機関とする。また評議委員会を**まちづくり推進委員会**とし自治会を基盤に**自治会連絡会等**で情報共有と相互理解を進め、全住民がまちづくりを推進する仕組みに変更する。これは宝塚市協働のまちづくり推進条例（2021年4月施行）第7条「まちづくり協議会は、透明性のある、民主的で開かれた運営を行う」に準じた会則改定でもある。

(現行)	(改正案)
<p>第9条（広報委員会）広報委員会は広報委員長、各部会・宝梅ハウス運用委員会広報担当委員、常任評議会広報担当委員で構成しするが、必要に応じて委員を募ることができる。</p>	<p>第9条（広報委員会）広報委員会は広報委員長、各部会・宝梅ハウス運用委員会広報担当委員、<b>常任評議会</b>広報担当委員で構成しするが、必要に応じて委員を募ることができる。</p>
<p>第14条4 役員会は次の事項を審議決定する。 (1)総会議案 (2)事業運営活動を進める上で重要な案件</p>	<p>第14条4 役員会は次の事項を審議決定する。 (1)総会議案 (2)事業運営活動を進める上で<b>重要必要</b>な案件</p>
<p>第15条（役員会の業務）役員会の業務は、次のとおりとする。 (1)事業全般の重要事項を審議決定し、遂行する。 (2)事業報告、決算報告、事業計画案、予算案を作成し常任評議会の審議を経て、総会で承認を得る。 (3)本会会長を含む役員案を提出し常任評議会の審議を経て総会で承認を得る。 (4)常任評議会に出席し、議案の説明及び日常活動の報告をする。</p>	<p>第15条（役員会の業務）役員会の業務は、次のとおりとする。 (1)事業全般の<b>重要必要</b>事項を審議決定し、遂行する。 (2)事業報告、決算報告、事業計画案、予算案を作成し<b>常任評議会</b><b>運営審議会</b>の審議を経て、総会で承認を得る。 (3)本会会長を含む役員案を提出し<b>常任評議会</b><b>運営審議会</b>の審議を経て総会で承認を得る。 (4)<b>常任評議会</b><b>運営審議会</b>に出席し、議案の説明及び日常活動の報告をする。</p>
<p>第16条（議決機関）総会・評議委員会・常任評議会を議決機関とする。</p>	<p>第16条（議決機関）総会・<b>運営審議会</b>・評議委員会、<b>常任評議会</b>を議決機関とする。</p>

(現行)	(改正案)
<p>第 17 条 (評議委員会) 評議委員会は自治会、管理組合及び学校 (園) の代表又は代表に推薦された者 (以下評議委員という) で構成する。</p> <p>2 構成団体及び委員数は別表 1 から 3 に定める。</p> <p>3 評議委員の定数は上限 60 人とし、1 団体につき 1 名を原則とする。ただし、自治会は規模によって複数代表とすることができる。</p> <p>4 評議委員会は常任評議委員会議長が必要に応じて招集する。なお、評議委員会の議長は委員の互選により選任する。</p>	<p>第 17 条 (<b>まちづくり推進委員会</b>評議委員会)</p> <p>まちづくり推進委員会は、評議委員会は自治会、管理組合及び学校 (園) の代表又は代表に推薦された者 (以下<b>まちづくり推進委員</b>評議委員という) で構成する。自治会を核に役員会と協働し、まちづくりを推進する。</p> <p>2 構成団体及び委員数は<b>別表 1 から 2</b>に定める。</p> <p>3 <b>まちづくり推進委員会</b>評議委員の定数は構成する自治会と学校 (園) <del>上限 60 人</del>とし 1 団体につき 1 名を原則とする。<del>ただし、自治会は規模によって複数代表とすることができる。</del></p> <p>4 まちづくり推進委員会内に<b>自治会連絡会を併設し</b>評議委員会は常任評議委員会議長本会会長が必要に応じて招集する。<del>なお、評議委員会の議長は委員の互選により選任する</del></p>
<p>第 18 条 (常任評議会)</p> <p>常任評議会は評議委員会において評議委員の中から選任されたもので構成し、常設の議決機関として本会会長の要請により開催する。ただし、常任評議会委員の過半数の要請があれば開催しなければならない。</p> <p>2 常任評議会は次の事項を評議決定する。</p> <p>(1) 総会議案</p> <p>(2) 役員会で審議された運営上重要な案件</p> <p>(3) その他、本会会長の要請による案件</p> <p>3 常任評議会議長、副議長及び会計、書記、広報担当は委員の互選により選任する。</p> <p>4 常任評議会の定数は上限 21 人とする。</p> <p>5 常任評議会委員の任期は 1 年とする。再選は妨げないが、議長は通期で 4 年を限度とする。欠員により補充された委員の任期は前任者の残任期間とし通期年数は前任者の任期は含まない。</p>	<p>第 18 条 (<b>運営審議会</b>)<del>(常任評議会)</del></p> <p><b>運営審議会</b>常任評議会は<b>まちづくり推進委員</b>評議委員会において評議委員の中から選任されたもので構成し、常設の議決機関として本会会長の要請により開催する。ただし、常任評議会<b>運営審議会</b>委員の過半数の要請があれば開催しなければならない。</p> <p>2 <b>運営審議会</b>常任評議会は次の事項を評議決定する。</p> <p>(1) 総会議案</p> <p>(2) 役員会で審議された運営上重要な案件</p> <p>(3) その他、本会会長の要請による案件</p> <p>3 <del>常任評議会議長、副議長及び会計、書記、広報担当は委員の互選により選任する。</del></p> <p>4 <b>運営審議会</b>常任評議会の定数は<del>上限 21 人と</del><b>3 人以上とする。</b></p> <p>5 常任評議会委員<b>運営審議会</b>の任期は 1 年とする。再選は妨げないが、議長は通期で 4 年を</p>

<p>6 常任評議会構成員の過半数(委任状を含む)をもって成立する。</p> <p>7 議決は出席者(委任状を含む)の過半数をもって決定し、可否同数の場合は議長が決定する。</p>	<p>限度とする。欠員により補充された委員の任期は前任者の残任期間とし通期年数は前任者の任期は含まない。</p> <p>6 <b>運営審議会</b>常任評議会構成員の過半数(委任状を含む)をもって成立する。</p> <p>7 議決は出席者(委任状を含む)の過半数をもって決定し、可否同数の場合は議長が決定する。</p>
<p>第 19 条(総会)総会は本会の最高議決機関とする。</p> <p>2 常任評議会議長は年 1 回定期総会を招集しなければならない。また、常任評議会議長が必要と認めたとき、又は評議員会の 1/2 以上もしくは本会会長の要請があったときは臨時総会を開催しなければならない。</p> <p>3 総会は評議員会、役員、各部会副部長で構成する。</p> <p>4 総会は構成者の過半数(委任状を含む)をもって成立する。</p> <p>5 議決は出席者(委任状を含む)の過半数で決定し、可否同数の場合は議長が決定する</p> <p>6 会議は原則、公開とする。</p>	<p>第 19 条(総会)総会は本会の最高議決機関とする。</p> <p>2 常任評議会議長本会会長は年 1 回定期総会を招集しなければならない。また、常任評議会議長が必要と認めたとき、<del>まちづくり推進委員又は評議員会の</del>1/2 以上もしくは<b>運営審議会</b>、本会会長の要請があったときは臨時総会を開催しなければならない。</p> <p>3 総会は<b>まちづくり推進委員</b>評議員会、役員、各部会副部長で構成する。</p> <p>4 総会は構成者の過半数(委任状を含む)をもって成立する。</p> <p>5 議決は出席者(委任状を含む)の過半数で決定し、可否同数の場合は議長が決定する</p> <p>6 会議は原則、公開とする。</p>
<p>(総会における審議)</p> <p>第 20 条 定期総会では次の事項を審議する。</p> <p>(1)事業報告、決算報告、事業計画案、予算案の承認</p> <p>(2)役員の承認</p> <p>(3)常任評議会委員の承認</p> <p>(4)その他重要案件</p>	<p>(総会における審議)</p> <p>第 20 条 定期総会では次の事項を審議する。</p> <p>(1)事業報告、決算報告、事業計画案、予算案の承認</p> <p>(2)役員の承認</p> <p>(3)<b>運営審議会</b>常任評議会委員の承認</p> <p>(4)その他重要案件</p>

別表1 (第17条関係)

自治会		
	自治会名	定数
1	アジュール宝塚南口管理組合	1
2	逆瀬川	1
3	ザ・宝塚タワー	1
4	寿楽荘	2
5	新寿楽荘	1
6	ダイアパレス宝塚月見山	1
7	宝塚	1
8	宝塚南口	2
9	宝塚宝南	1
10	長寿ガ丘	1
11	月見台	1
12	月見山	1
13	月見山2丁目	1
14	デ・リード宝塚リバビュー	1
15	中州	2
16	中州1丁目	1
17	中州園	1
18	西逆瀬川	1
19	野上1丁目	1
20	ヴィローゼ宝塚南口	1
21	宝松苑	1
22	宝南第一	1
23	宝梅	1
24	武庫山	2
25	武庫山1丁目	1
26	メロディーハイム宝塚	1
27	紅葉ガ丘	1
	27自治会	

- ・他校区にまたがる自治会は校区内世帯を対象とする。(逆瀬川、宝南、宝梅の3自治会)
- ・管理組合については別途検討する。

別表2 (第17条関係)

学校(園)		
	学校(園)	定数
1	宝塚市立宝塚第一小学校	1
2	宝塚市立宝梅中学校	1
3	宝塚市立光ガ丘中学校	1
4	甲子園大学(地域連携推進センター)	1
5	宝塚武庫山幼稚園	1
6	宝塚南口幼稚園	1
	6学校(園)	6

議案第4号 2023年度 運営審議会委員

宝塚第一小学校区まちづくり協議会会則第18条の規定に基づき次のとおり、2023年度の運営審議会委員の承認を求める。

2023年度 運営審議会委員

自治会	氏名
1 中州自治会	水口 薫
2 宝塚南口自治会	棚橋 博
3 武庫山1丁目自治会	坂本 敏
4	

議案第5号 2023年度 役員

宝塚第一小学校区まちづくり協議会会則第20条（2）の規定に基づき  
次のとおり 2023年度役員（案）の承認を求める

※新任

役 職 名	氏 名
会 長	やまもととしはる 山 本 敏 晴
副 会 長	さきやまたか 崎 山 隆 司
副 会 長	ひらたもとえ 平 田 本 江
副 会 長	みぞたやすひで 溝 田 康 英
会 計	うえだいくよ 上 田 育 代
会 計	おおつきけいこ 大 槻 恵 子
書 記	みきもとし 三 木 基 史
書 記	みきみさえ 三 木 美 佐 江
広報委員会委員長	にしばやし 西 林 陽 子
一小宝梅ハウス館長	もりその 森 園 かおる
安全部会長	しばりひと 芝 理 仁
環境部会長	こみやま真さよ 小 宮 真 佐 代
福祉部会長	きただかわきょうこ 喜 多 河 恭 子
子育て部会長	まつやまとおる 松 山 亨
地域交流部会長	しおかわけいぞう 塩 川 恵 造
会計監査	みきさくら 三 木 さくら
会計監査	よしおかみちお夫 吉 岡 道 夫

※

宝塚第一小学校区まちづくり協議会会則第 20 条(1)の規定に基づき、次のとおり 2023 年度事業計画(案)の承認を求める。

1. 全体での取り組み

第 6 次総合計画「地域ごとのまちづくり計画」を実施して具体化する

(1)全体事業

- ①「トレジャーハンター」 今年より一小授業としてまち協が関わる
- ②地域交流事業の実施 自治会などと連携した地域活性化事業を目指す
- ③共生 UGAN まつり まち協より派生した実行委員会方式で運営する
- ④中高生の居場所づくり 宝梅ハウスを次世代が集える活用スペースとして運営する。当面は自習室の開放 5/13、5/14 年間 10 回を予定
- ⑤防災への取組 防災デジタル地図作製と情報プラットフォーム構築する  
避難所運営訓練予定

(2)重点プロジェクト

①重点プロジェクト A 武庫川右岸の活性化 PJ

- ・共生 UGAN 祭り、歴史伝承の温泉まつりで次世代育成のまちづくり
- ・旧宝塚ホテルから伐採された楠木の再利用など循環型のまちづくり促進
- ・専門家、行政などと中心市街地の都市計画案を作成
- ・まちづくり計画の進捗点検 プランナーと議論

②重点プロジェクト B コミュニティ再生 PJ

- ・行政とマンションとの関係構築等に関して会合
- ・2025 年ホテル跡地 2 棟の開発事業者とコミュニティづくりで相互理解
- ・行政との会合を受けて、マンション・コミュニティ実行委員会立ち上げ
- ・行政と「マンション自治会づくり」の行動指針、計画を作成
- ・重点 CPJ や防災委員会等と連携しマンション防災や地域の活動等紹介
- ・夏まつり等の協賛金応援いただいたマンションへの再度アプローチ

③重点プロジェクト C まちづくり計画 PJ

- ・地区防災委員会 『防災デジタルマップ』作成
- ・各ブロックの課題解決タイムスケジュール作成
- ・避難所開設訓練

④重点プロジェクト D 次世代育成

- ・遊ぼう MAP
- ・中高生の居場所づくり

(3) 外部の会議

- ① まちづくり協議会代表者交流会
- ② 宝塚市自立支援協議会全体会
- ③ 第一小学校コミュニティスクール
- ④ 宝梅中学校コミュニティスクール
- ⑤ 第一小学校教育環境適正化検討委員会
- ⑥ 校区人権啓発推進委員会
- ⑦ 野上児童館運営委員会
- ⑧ 旧宝塚ホテル跡地開発連絡会

(4) 内部会議の開催

- ① 役員会
- ② まちづくり推進委員会（新設）
- ③ 運営審議会（新設）
- ④ 部会連絡会（随時）
- ⑤ 部会（福祉、子育て、環境、安全、地域交流）
- ⑥ 広報委員会（広報紙、ブログ）
- ⑦ 宝梅ハウス運用委員会
- ⑧ 地区防災委員会
- ⑨ 防災訓練などの実行委員会
- ⑩ 地域ごとのまちづくり計画の推進及び進捗管理委員会

2. 部会活動、広報活動、拠点(一小宝梅ハウス)管理

(1) 安全部会

- ① 部会 12回
- ② 第9回児童防災訓練
- ③ 宝塚ボランティアプラザ zukavo 主催小中高生ボランティアクラブ
- ④ 宝梅中学校との安全教室や防災教室の実施への取り組み
- ⑤ 校区内の安全対策
- ⑥ 全体事業、部会間の行事、地域の行事等への参画

(2) 環境部会

- ① 部会 12回
- ② 自治会開催の支多々川清掃の支援
- ③ 寄せ植え講習会
- ④ 校区内花壇グループ12への支援活動
- ⑤ 地域環境活動(重点プロジェクトDと連携)
- ⑥ 講師派遣(勉強会)の実施
- ⑦ 全体事業、部会間の行事、地域の行事等への参画

(3) 子育て部会

- ① 部会 10回
- ② 一っ子遊ぼう会への支援
- ③ 子育てふれあいサロンへの支援
- ④ 中学生高校生の場所づくり講演会

- ⑤夏休み世代交流広場（工作教室）
- ⑥全体事業、部会間の行事、地域の行事等への参画

#### (4) 福祉部会

- ①部会 12回
- ②地域福祉ネットワーク会議の開催
- ③ふれあいサロン、ミニデイサービスの支援
- ④子育てふれあいサロンの開催 11回
- ⑤宝塚南口河川敷ラジオ体操の開催
- ⑥福祉勉強会
- ⑦暮らしのパートナー活動(くつろぎカフェ)  
(宝塚ボランティアセンター移動カフェ)
- ⑧多世代交流事業～夏休み工作教室～
- ⑨一っ子遊ぼう会の支援
- ⑩福祉バスツアー研修の実施
- ⑪地域の福祉活動との連携
- ⑫全体事業、部会間の行事、地域の行事等への参画

#### (5) 地域交流部会

- ①部会の定期開催 12回
- ②「地域の魅力再発見」事業
  - ・第12回「まち歩き」小浜地域
  - ・第13回「まち歩き」石橋・池田地域
- ③地域交流ネットワーク会議 2回
  - ・都市計画、まちづくりの専門家と共に
  - ・近隣の次世代支援の活動を学ぶ未来型研究会
- ④まちづくりの事例を学び次世代市民を育てる講演会
- ⑤「地域の魅力づくり」のまつりをプロデュース
  - ・宝塚温泉まつりの事務局（企画・予算、実行委員会運営）
  - ・共生UGANまつりの事務局（企画・予算、実行委員会運営）
- ⑥全体事業への参画
  - ・重点プロジェクト「A 武庫川右岸活性化」「B コミュニティ再生」
  - ・「トレジャーハンター」事務局
  - ・学校・育友会との地域交流事業を企画しプロデュース
- ⑦全体事業、部会間の行事、地域の行事等への参画

#### (6) 広報委員会

- ①広報紙発行 3回(7月、11月、3月)
- ②広報紙配布体制の強化
- ③ブログの発信
- ④全体事業、部会間の行事、地域の行事等への参画

#### (7) 一小宝梅ハウス

- ①部会 11回 運営委員会 適宜
- ②地域住民の交流の場づくり(宝梅ハウスまつり)  
(趣味の会イベント)
- ③暮らしのパートナー活動 (くつろぎカフェ)  
(ボランティアセンター移動カフェ)
- ④サロン活動の支援・協力(子育てふれあいサロン)
- ⑤自習室として小、中学生への集会室の開放
- ⑥集会室やコピー機・印刷機・プロジェクター等の貸し出し
- ⑦フードドライブ活動(食品回収BOX 設置協力)
- ⑧全体事業、部会間の行事、地域の行事等への参画

議案第7号 2023年度予算

宝塚第一小学校区まちづくり協議会会則第20条第1号後段の規定に基づき次のとおり2023年度予算（案）の承認を求める。

2023年度宝塚第一小学校区まちづくり協議会予算（案）

【収入の部】

(単位：円)

項 目		2023年度予算額	2022年度予算額	差 異	摘 要
前年度繰越金		2,695,525	3,046,922		
公 的 助 成 金	宝 塚 市	818,000	818,000	0	補助金第5条第1項1号～3号
	宝塚社会福祉協議会（赤い羽根）	80,000	0	80,000	
	宝塚市社会福祉協議会	239,000	247,000	△ 8,000	福祉コミュニティ支援事業助成金
	宝塚市社会福祉協議会	28,000	28,000	0	事業ごと申請分
一 般 財 源	夏まつり協賛金等	0	0	0	
	行事参加費	320,000	50,000	270,000	工作教室、寄せ植え講習会、バスツアー（@5000×50人）くつろぎカフェ等
	一小宝梅ハウス運営収入	524,000	410,000	114,000	集会室・印刷機使用料収入
	利 息	60	60	0	
収入合計		4,704,585	4,599,982		

【支出の部】

(単位：円)

項 目		2023年度予算額	2022年度予算額	差 異	摘 要
本 部		300,000	300,000	0	社協構成会費含む
広報委員会		140,000	140,000	0	
環境部会 ※		100,000	130,000	△ 30,000	寄せ植え講習会参加費含む
安全部会 ※		80,000	80,000	0	
子育て部会 ※		80,000	80,000	0	
地域交流部会 ※		100,000	130,000	△ 30,000	
福祉部会		509,000	247,000	262,000	くつろぎカフェ、バスツアー受益者負担金含む
全体行事		80,000	110,000	△ 30,000	トレジャーハンター、UGANまつり等
重点プロジェクト		0	50,000	△ 50,000	地域交流事業として計上
地域交流事業		130,000	130,000	0	重点プロジェクトA、B、D含む
地区防災		100,000	50,000	50,000	重点プロジェクトC含む
一小宝梅ハウス施設整備・運営費		602,500	357,500	245,000	
常任評議会		30,000	30,000	0	
市助成金返金		0	70,429	△ 70,429	
次期繰越金		2,453,085	2,695,053		
支出合計		4,704,585	4,599,982		

※の予算は各部会間で流用可能とする。